

ボランティア活動の支援と 人材育成のための講習会

本事業は地域活性化に資するボランティア活動の支援を目的とするボランティア活動のきっかけ作りとリーダーの育成のために伝統文化や音楽の講習会を開催し、習得した知識と特技を生かして活動する高齢者福祉および外国人留学生支援ボランティアグループ活動に必要な経費の一部を支援し地域社会の健全な発展に貢献する。

ア 芸術・伝統文化講習会の開催

「京都鴨沂会文化教室」

イ 地域活性化に資する自主的グループ活動の支援

ウ 高齢者福祉ボランティア活動の推進

エ 留学生の伝統文化学習と生活適応のための支援活動

「高校留学生のための日本伝統文化体験学習会」

「外国人のための日本伝統文化教室」

令和2年度、鴨沂会の公益目的事業第2部門は、新型コロナウィルス感染拡大によって、活動を大幅に制限せざるを得ませんでした。

例年ならば、福祉施設や医療機関などでのコーラス、楽器演奏、民謡、書道、華道、茶道など多彩なボランティア活動が年間約40件も行われて大変喜ばれていましたが、令和2年度以降、ウィルス感染を防ぐために、受け入れ側も奉仕側も活動を自粛しているため、ボランティア要員の派遣と助成を行う本事業部門は休止状態となっております。更に、毎年秋に行われていた「高校留学生及び外国人に対する日本伝統文化体験学習会」も、出国が制限されているため受講生が無く開催することができませんでした。

また、生涯学習のための「伝統文化習得とボランティア活動の担い手育成を目指す「京都鴨沂会文化教室」は、各分野の特性に従って異なる対応をとっています。原則として、緊急事態宣言の発出中は休講とし、解除後は各講座の内容を踏まえた講師の判断におまかせしています。例えば茶道や書道はコロナ感染が収まるまで休講、その他、三密が避けられる分野、網ざしなどでは感染予防対策を講じた上で開講しています。

令和3年度から、日本伝統文化の「香道」が文化教室に加わりました。又これまでの「謡曲教室」が名称も新たに「能楽教室」として初心者から経験者まで、謡い・仕舞・奏楽にわたって学べることになりました。多くの方のご参加をお待ちしております。

一方、鴨沂会館はWi-Fiの設備を整えたから、出来るだけ多くの活動をオンラインで行ってはどうかとの意見があ

り、確かにデジタルテクノロジーの利便性は大きく、理論や技術の習得に威力を発揮することと思われれます。ただ日本伝統文化のように場の空気とも言うべき核心的なものが果たして電波に乗るかどうかを考える必要があります、文明の利器もその利点と限界を弁えた上で、適切に活用することが期待されます。今こそ心を合わせてコロナウイルス感染を抑制し、豊かな学びと共生の活動を速く取り戻そうではありませんか。

(矢島 芳枝 記)

香道教室を始めました。

香道教林坊流霞風会 早川 光菜

今から千五百年ほど前、仏教の伝来とともに大陸から伝わってきたお香。また日本書紀・聖徳太子伝略には、推古三年（五九五年）淡路島に大きな木片が流れ着き、島人がこの木片を竈にくべると、たちまち辺り一面に良い香が立ち込め、驚いた島人はこれを朝廷に献上。聖徳太子が沈香だと鑑定され、その香木で観音像をお作りになったと記されています。

香木は昔も今も日本では採ることができず、東南アジアの方でしか採



香木

取できません。朽ちた木の中の樹脂が、何百年とかけて熟成・形成されたもので、比重が重たく水に沈むため、「沈水香木（沈香）」と呼ばれます。

遠い道のりを経てやってきた大変貴重な香木は、神仏への捧げ物、そして神仏に向かうわが身を浄めるためのものですが、時代の流れとともに、香との関わりが変化してゆきます。

八九四年に遣唐使が廃止され、それまで唐風一色だった様々な意識が、日本の気候風土とあいまって、日本独自の文化「国風文化」が生まれます。

四季の移ろいを愛で歌に詠み、色に変えて身に纏い、香りに託して衣にたきしめる…こうした優美さが貴族社会における大切な要素となります。

鎌倉・室町時代に入りますと、一木の香りを極める精神性が尊ばれるようになります。香りを嗅ぐとは言わず、「聞く」と表現し、香木と向き合います。神経を集中させ、感覚を研ぎ澄ませ、細かなことにも耳を傾けるように香りを聞きます。

沈香は伽羅・羅国・真南蛮・真那賀・佐曾羅・寸門多羅の六種に、さらにそれぞれの香りを甘・酸・辛・鹹・苦の五味にあてはめ「六国五味」として分類され、貴重な香木を最上の状態で炷くための作法が確立しました。香道として完成し、茶の湯や立花と同じく、華やかな東山文化の一躍を担っていきます。

この度、京都鴨沂会文化教室に香道教室として参加させて頂いたことになりました。どうぞ宜しく願っています。

教室では、香木を炷く作法（手前）の稽古、和歌や古典文学に触れながらの香りの香りの観賞、香袋の季節の花結びなど伝授いたします。お気軽にご参加くださいませ。



紐結び



お手前の様子

能楽教室の開講にあたって

謡曲教室の足跡

京都鴨沂会伝統文化教室「謡曲教室」をより発展させる為、今春一旦閉講とし今般教室名も「能楽教室」と改め、

彩雲会会員 宇治田恵子

新たに開講される運びとなりました事は謡曲教室の生徒の一人として大変嬉しく存じます。

鴨沂会謡曲教室の誕生と歩みは八十有余年を遡ります。金剛流の高弟でおられた高岡鶴三郎師を祖父として大正三年に京都市、烏丸松原にてお生まれになつた高岡歳子先生とのご縁に端を発します。歳子先生は幼少の頃より鶴三郎師に就き、謡い仕舞のお稽古をされておりましたが、昭和八年京都府立第一高等女学校研究科をご卒業され、本格的に初世金剛巖宗家に入門されました。

そして昭和十二年鴨沂学園にて仕舞の教授となられました。この時の事は先生の著書に次のように書いておられます。

「昭和十二年師範免許。彩雲の号を頂き、彩雲会結成。鴨沂学園へ仕舞教授として勤める。昭和十四年三月、同好会三十人の女生徒の仕舞の会を、学園二階の畳敷大広間で開催した。その時金剛先生は書生さんをつれて見に来て下さった。特に『二人静』と『葛城』が良く出来たと賞めて頂き、みんなも良く出来たからと云って、『褒美に三十本の扇子を差し上げます』と約束された。それには、紺の地



平成3年11月 旧金剛能楽堂にて

紙に、表に金泥で大竹、裏には、道歌を銀泥でお書き下さった。

音曲は唯大竹のごとくにて

すなほに清く節すくなけれ

先生は毎日毎夜そのお扇子を一本一本丁寧に書かれ生徒との約束を果たされた。

これからお母さんになる人に日本の能の心を、しっかりと教える様、私にくり返し申された先生であった。」

昭和二十三年には金剛流初の女流職分となられ、二十四年の「井筒」初演、三十九年「道成寺」四十一年「定家」四十三年「徹」四十五年「江口」四十八年「鸚鵡小町」五十年「芭蕉」五十二年「玉葛」五十四年「松風」五十八年「井筒」六十年「熊野」六十二年「姥捨」平成元年「大原御幸」三年「楊貴妃」七年「野宮」九年「落葉」と数多くの能を演じられ又、昭和二十五年より金剛定期能において仕舞の出演を始められた。

他方、三十四年には、鴨沂高校謡曲クラブをご指導、又四十五年には鴨沂会謡曲教室「翠嶺会」を発足されるなど卓越した指導力を発揮され、昭和六十一年に日本能楽協会より長年の功績により表彰されました。

歳子先生が九十二歳でお亡くなりになったのちも、鴨沂会の教室にて、稽古時の歳子先生の録音テープや、演能のDVDを拜見しながら先輩師範諸姉を中心に稽古を続けてまいりました。

年を経て彩雲会、翠嶺会、の今後について皆様とお話合いの結果を受けて、鴨沂会「謡曲教室」をご宗家にお返しするべく、愈々今春、鴨沂会より文化教室担当の矢島理事、彩雲会より矢木氏、宇治田の三名で、烏丸の金剛能楽堂に宗家、若宗家をお訪ねいたしました。そして私共の願いをお汲みいただき金剛流能楽教室として受け継いで戴ける事となりました。

又若宗家より御推薦を戴きシテ方金剛流能楽師、新進気鋭の若き惣明貞助先生を講師としてお招きすることになり大きく動き出しました事望外の喜びです。

※文中の年号、事柄については高岡歳子著「能の家に生まれて 月やあらぬ」(平成十四年十一月十八日発行、美術出版(株)八宝堂)より抜粋しました。

能楽教室の始まりにあたって

シテ方金剛流(宗家直門) 能楽師 惣明 貞助

この度、若宗家より能楽教室の講師を任された事大変光榮に存じます。また、大変に歴史ある教室を引き継ぐ形になり身が引き締まる思いで御座います。

私は平成十八年に金剛流能楽師であった故宇高通成に師事したことを契機に能楽に触れ、それに魅了され女人を志すよ



うになりました。そして平成
二十五年より二十六世宗家、金
剛永謹先生の元で七年間の住み
込みの修業を終えたばかりの者
で御座います。

まだまだ芸に精進している途
中では御座いますが、皆様に能
楽の魅力を伝えていければと思
いますのでどうぞ宜しくお願い
申し上げます。



能「石橋」より

公益社団法人京都鴨沂会への参加お誘い

この法人の事業に賛同する個人あるいは団体であればどなたでも入会できます。公益社団法人の一員として社会貢献するためにご入会をお待ちしています。

法人の目的と公益目的事業

この法人は、教育・文化・芸術の振興、社会福祉の向上に資する事業を行い、地域社会の健全な発展を図り、公共の利益に寄与することを目的として活動しています。

高校教育を振興するために

「高校生奨学金」

高齢者福祉の促進のために

「高校教育支援助成費」

国際相互理解の促進のために

「ボランティア人材育成の伝統文化教室」

「高齢者福祉ボランティア活動と助成」

生涯教育と福祉教育のために

「高校留学生伝統文化体験学習会」

「留学生伝統文化個別指導」

「教養講座」

申込方法

入会金に会費を添えて京都鴨沂会事務所へ申込んで下さい。

入会金（正会員、賛助会員とも） 5000円

正会員年会費 20000円

賛助会員年会費 一口 100000円